

共産党網走市委員会 北海道

# アンケートに願

## 循環バスほしい 安倍政権ひどい 野党共闘を強く

340通返送 4年前の約3倍

前回2015年の北海道網走市議選で日本共産党が2から1議席に減らした痛苦の教訓から、党市委員会が取り組んでいる市政アンケート。全世帯の約8割に当たる1万5千世帯に配布し、これまでに約340通が返送されていきます。

世代別の回答は、70

4年前の、約1万世帯に配り、約130通が回収されたのを大きく上回り、松浦敏司市議（党市委員長）は「市議選のたびにアンケートを実施していますが、こんなに返ってくることはありません」と市民の要望の強さを



後援会員らと訴える畠山氏（左端）＝21日、北海道網走市

代以上が最多の43%、20～30代8%、40～50代が21%と現役世代も目立ちます。市政について、「市内循環バスを走らせてほしい」「道路がデコボコでベビーカーを押して歩くのが大変」といった身近な願いや、「共産党以外の」議員の姿が見えない。共産党市議を増やしてほしい」と日本共産党への期待もあります。国政では、「年金が下がりが生活が苦しい。消費税増税はやめてほしい」「安倍政権はひどすぎる。市民と野党の共闘を粘り強くすすめてほしい」と要望。自由記載欄にぎっしり書き込んでいます。

### 党前進へ畠山氏訴え

畠山和也前衆院議員（参院北海道選挙区候補）は21日、網走市入りし、農協や商工会議所との懇談、街頭宣伝を行いました。

夜は、党市委員会が呼びかけた「市議選と参院選の連続勝利めざす決起集会」に駆けつけました。畠山氏は、北海道地震の被災自治体の党議員が避難所に泊まり込んで被災者を支援し続けた奮闘の数々を紹介。「国民の苦難に寄り添うという立党の精神を発揮する日本共産党議員を網走で増やすことが市民の切実な願いを実現し、参院選勝利の土台になります」と訴えました。